

令和2年度 中国高等学校バスケットボール新人大会

日時	2021年2月7日	13:00	男子	決勝
会場名	ジップアリーナ岡山			Mコート 第三試合

● 関西 86	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>-</td><td>22</td></tr> <tr><td>20</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>22</td><td>-</td><td>26</td></tr> <tr><td>22</td><td>-</td><td>24</td></tr> </table>	22	-	22	20	-	18	22	-	26	22	-	24	90 呉港 ○
22	-	22												
20	-	18												
22	-	26												
22	-	24												

審判名	クルーチーフ		田中稔					1stアンパイア	山本皓貴	2ndアンパイア		福田尚弘	
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
本田 雄貴	1	-					宇江 照	8	-				
土屋 亘輔	2	-					安浦岡 悠葵	11	-				
落葉 良幸 *	5	26	6	3	2	2	佐々木 悠翔	13	-				
守安 大地	8	0				2	佐古 竜誠 *	14	35	3	10	6	2
戸坂 透也(C) *	9	22	2	6	4	4	溝手 晴起 *	15	12	2	3		1
齋藤 晴 *	13	17	3	4		2	大瀬 優尚 *	16	9		4	1	1
長津 圭亮 *	16	11	1	4		4	藤井 聖人	21	-				
白神 飛翔	18	-					坂本 優大	23	-				
難波 良多	21	-					井上 晃成(C) *	27	30	6	4	4	1
社 颯大	24	-					塚迫 光成	28	-				
片山 光輝	36	-					森岡 竜登	31	2		1		
小田 智己 *	45	10	2	2		1	守下 高明	34	-				
歳原 悠矢	56	-					柴村 晃太	48	-				4
福井 楽	77	0				1	デ'オッフ セリヌ 莉紗	77	2		1		
相井 誠太	88	-					酒井 翔麻	88	-				
合計		86	14	19	6	16	合計		90	11	23	11	9

戦評

岡山①関西と広島①呉港との決勝戦となった。

1Q 両チームともにマンツーマンディフェンスで試合スタート。呉港#27のレイアップシュートで先制する。#14を中心に果敢に攻める呉港に対して、関西も負けじと#13の3Pで応戦する。残り8分、両者固い守りで試合が進むなか、呉港#27がドライブで流れを作る。関西も#13のドライブ、#45の3Pで食らいつき、残り6分、関西8-10呉港とする。その後、関西#16のアシストから#5の3Pが決まり、関西が逆転に成功する。さらに関西#9がドライブからファウルを誘い、勢いに乗ろうとするが、呉港#14、#16らの得点で譲らない。その後、両チームともシュートが入らず、苦しい時間帯となる。流れを変えたい関西は残り1分30秒1-2-2のゾーンディフェンスを仕掛ける。関西#5の3Pや#45の2Pで関西22-19呉港となるが、呉港#27の3Pが終了と同時に決まり、関西22-22呉港の同点で1Q終了。

2Q 関西ボールでスタート。開始早々関西#5、#9のドライブで勢いに乗りたい関西だが、呉港#14が冷静なディフェンスでボールカットからレイアップを決め主導権を渡さない。残り7分、関西前半1回目のタイムアウト。流れを変えたい関西はオールコートゾーンディフェンスで呉港のミスを誘う。関西は#9のドライブや#13のジャンプシュートで点数を重ねる。呉港は#77を起点としたピックアンドロールから関西を突き放しにかかる。残り2分で関西34-39呉港となる。その後、関西#5の速攻からのレイアップが決まり、一気に流れをつかむ。続けて関西#5の3P、終了と同時に#13の3Pが決まり関西42-40呉港と関西リードで前半終了。

3Q 呉港ボールで開始。関西はゾーンディフェンスを続ける。さらに、オールコートでプレッシャーをかけながらミス誘う。呉港は#14から#15へのアシストからレイアップを決め、流れを作る。さらに呉港は#27の連続3Pや#16のオフENSリバウンドからのゴール下などで得点を重ねていく。呉港#14のレイアップシュートが決まり、点差が8点開いたところで残り5分、関西のタイムアウト。タイムアウト後、関西は#5の連続3Pで一気に流れを引き寄せたかに見えたが、呉港は#14を起点に攻撃を組み立て#15、#27の3Pなどで対抗する。関西#16のゴール下や#9の速攻、#13のブロックショットなどで点差を詰めようとするが、呉港も#14の得点で粘り、一進一退の攻防が続く関西64-66呉港で3Q終了。

4Q 関西ボールで開始。開始早々呉港#14のジャンプシュートが決まる。対する関西も#9がドライブからジャンプシュートを決める。関西は#5の3PやオフENSリバウンドからの#45のゴール下や#5から#13への合わせのシュートで逆転に成功する。一方、呉港は#14の速攻による得点や、#27のドライブが関西#77のファウルを誘い、フリースローを着実に決める。そして呉港は#27の3Pで再度逆転する。関西は#13の3Pで同点に追いつくと#16のパスから#9がゴール下を決め、粘り強くついていく。残り25秒で呉港のタイムアウト。タイムアウト後のシュートはリバウンド争いからのルーズボールで関西に。残り11秒で関西がタイムアウト。速いシュートからオフENSリバウンドを取りシュートを試みるがリングに弾かれ得点につながらず試合終了。関西86-90呉港で、呉港が接戦の末決勝戦を制し、初優勝を飾った。

